

114
A 3302

紙幣相場日々高下し下民は難儀多し斗は嘆



元身天下の因乏と沖賑給被力在度心々以新

以受依之相考の紙幣通用を是と諸君の國に有

の諸君も他領の持出の正合なると、難お成上、引替お能い

引替不滞の方を百文札を正百文通用し引替るるをい

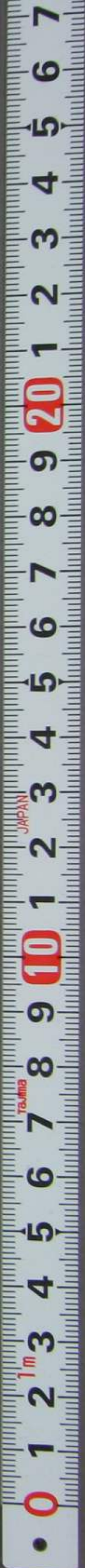
相場も下り相場下の故愈々難お成終る潰れお成る類

間々有之いと見聞し愚民を今般々令札も同様と依

らお成る窮民を僅か五分の合意元自し渡世の

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

3123



曾訪く其上、新海極おとすに公私之大事と有るを
仕方原直了云尤極く事成、新海極も有る一可一可
尋し、此等も古召出さるる口舌とす、此等極行も有る

引替所東点式々所

毎日各番々々所々引替は身尚正合壹万六千両

但百両以上引替お新々有るよりあるとす、凡そ人控有るは、
この凡そ百両人百両より、この四又十人、この可なり、
是也

壹々月三十日之内休働六日を除き、
正合三拾八万四千両

後河以東十三ヶ所奥羽迄都る引替所凡百ヶ所

壹々所身尚一日凡貳百両

但百両以上支相所を有るは、
此百両以上支相所を有るは、
一月之中三三四人、
但十五六日、
相減し、
是也

新令法製造家之急力有引替不聞之而
今日同者通用之何出此極仁者儲蓄之返相成也
用始之日又二十日有後前每用之者其小者
又小者必分令其朱南鑛之朱法令限新之朱法
都之通用即傳廢之令法之性合而位之萬國通用
又替之相成以之來幾日之者其扱但分析術之純令之交
之の取分下極之觸法相成以之蓄蓄以之革一驚之契
忽令法市中充滿之融通眼前宣委了也其地
民正令之紙幣之引替所不入用之者必顯其

此之引替者三月之方正令法適合之僅三百萬兩有之
得之朝廷之御威信も此之相互立下億兆之難任
之救富國之術も被行以之存之者不願也建之信望

巳
四月廿七日

教道局書記
伊能外記

